



2026年5月13日

各位

会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 百瀬 武文
(コード番号 6298 東証プライム)
問合せ先 取締役管理統括本部長 畠山 督
(TEL. 042-546-1161)

2026年3月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年5月14日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の業績予想数値と、本日公表しました実績値におきまして差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

(金額:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	30,000	2,000	1,800	1,200	65円61銭
実績値(B)	26,460	1,319	1,221	1,326	72円43銭
増減額(B-A)	▲3,539	▲680	▲578	126	—
増減率(%)	▲11.8	▲34.0	▲32.2	10.5	—
(ご参考)前期実績(2025年3月期)	23,041	1,354	1,124	559	30円39銭

2. 差異が生じた理由

(1) 売上高については、主に以下の要因により業績予想を大きく下回ることとなりました。

(半導体・メカトロニクス関連事業)

電子部品テーピング装置やキャリアテープ、半導体関連クリーンコンベア、半導体前工程向けのIPA乾燥機および純水加温装置の製造・販売は好調に推移したものの、一部、大口顧客の設備投資調整により販売が先送りになったことや、中古機のリセール販売が不調であったこと、およびハードディスク関連装置の販売先都合による納期調整が続いていることが、売上高に影響しました。

(医療・ヘルスケア関連事業)

人工透析装置の次世代機への移行調整が続いたことや、毛髪を用いた診断補助サービスの業界への浸透に時間を要していること、高感度光デジタル免疫測定装置および関連試薬の販売に時間を要したことから、売上高の業績予想未達に影響しました。

(環境・社会インフラ関連事業)

電力関連の制御通信等の大型受注や開発案件の創出、アニール装置の大型受注等、受注活動は好転し、光計測装置関連の販売も好調に推移しましたが、クリーニング関連事業の売上不振や、電子部品メーカー向けの光学検査装置の受注販売が先送りとなっていることが、売上高の業績予想未達に影響しました。

(2) 営業利益につきましては、営業経費の節減等に努めたものの、上記売上高の減少の影響が大きく影響し、業績予想を下回ることとなりました。

- (3) 経常利益につきましては、貸倒損失の解消や為替差損益の好転等があったものの、上記営業利益の減少により、業績予想を下回ることとなりました。
- (4) 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益に、買収に伴う負ののれん計上の効果により、業績予想を上回ることとなりました。

3. その他

- (1) 配当につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期配当予想からの変更はございません。(詳細につきましては、本日発表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。)

以 上